

令和 4 年度 墨田区立第四吾孺小学校 経営計画書

校長名 清水 雅也

学 校 目 標	◇健康で心豊かな子 ◇力を合わせてつとめをやりとげる子	◇よく考え進んで実行する子 ◇礼儀正しい子
目指す学校像	◇学ぶ力が伸びる学校	◇連携・発信する学校 ◇安全・安心な学校
目指す子供像	◇元気でいきいきと学び、運動する子供 ◇協力の担い手となる子供	◇協力し合い、認め・高め合う、共生 ◇地域・社会に貢献する礼儀正しい子供
目指す教師像	◇自ら学び、自己研鑽する教師 ◇教育公務員としての自覚をもち、保護者・地 域社会の期待にこたえる教師	◇「褒める・認める・きちんと諭す」ことができ る、あたたかく、厳しく、情熱的な教師

項 目	取組の視点	取組指標	成果指標
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等	◇各教科における「考えを深めるための言語活動のあり方」についての研究推進（校内研究）。 ◇すみだ GIGA スクール構想の推進。→ICT 機器を活用した <u>ステップ 2</u> の授業・学習の展開。 ◇朝学習・放課後補習等の充実。 ◇読書指導、調べ学習の充実。	◇教科を限定せずに、 研究対象とする言語活動を焦点化 し、研究授業 3 回を設定。外部アンケート「わかりやすい授業」85%以上。 ◇全教員・児童が GIGA スクールステップ構想「 ステップ 2 」(全教科における学びを深化させるための活用方法の習得)の授業・学習の達成を目指す。 ◇国語算数を中心に、基礎力定着をめあてとした朝学習を意図的計画的に実施（週 3 回）する。SST 等を活用して、個別補習や宿題チェックを行う。→児童アンケート「よくわかる」を 80%以上。 ◇図書館司書と連携し、読み聞かせ・ブックトークを年間 3 回以上実施。地域図書館団体貸し出しも定期的に活用する。
	特別な支援を必要とする子供に対するの、組織的な支援等	◇連絡会議の定期開催（最低月 1 回）と組織的な対応。 ◇通常学級と特別支援学級（たんぼぼ学級）との連携、および 医療的ケア児との交流によるインクルーシブ教育 の充実。 ◇関係諸機関との連絡・活用。	◇要支援児の実態を把握し（月 1 回、ケース会議実施）、適切な指導を即時行う。 ◇交流授業・活動を意図的計画的に実施し、社会性・障がい理解等の伸長を図る。→体育的・学芸的行事、特活等を中心に常時実施。 共生社会の担い手となる児童を育成する。 ◇ 医療的ケアが必要な児童の指導 について、実施検討委員会を中心に意図的・組織的な教育活動を推進する。 ◇特支委員会で困難と判断されたケースは、専門機関へ対応の協力を要請。 ◇外部評価「支援を要する児童への教育充実」85%以上。
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等	◇全教育活動を通して、意図的計画的なキャリア教育を実施。	◇地域人材・機関による体験学習を全学年 1 回以上実施。外部評価「体験活動、特色ある学習の充実」90%以上。

様式 2

	<p>教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等</p>	<p>◇校内 OJT の推進と充実。</p> <p>◇管理職による授業観察の実施。</p>	<p>◇主幹・主任教諭を中心とした 日常的な授業公開・参観の実施。</p> <p>◇管理職による定期的な授業観察を年 2 回以上実施する。</p> <p>◇外部評価「わかりやすい授業」85%以上。</p>
<p>生活指導等</p>	<p>問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等</p>	<p>◇全教員の共通認識・理解による問題行動の未然防止・解決。</p> <p>◇いじめ・不登校対策の連絡会議の定期開催（最低月 1 回）と組織的な対応。</p>	<p>◇週 1 回の生活指導朝会、年 3 回の児童理解の会により、全教員が全児童の顔・氏名・実態を把握し、共通認識のもとで指導にあたる。</p> <p>◇いじめ＝いつでも起こりうることであるという意識のもと、未然防止・早期解決を徹底する。→児童の記録・報告を毎日行う。</p> <p>◇不登校＝定期的に連絡し、現状を把握する。必要に応じ外部機関へ協力を依頼する。</p> <p>◇いずれも月 1 回の対策会議を実施し、情報共有を図り、組織的に対応する。</p> <p>◇外部評価「楽しい学校生活、相談や悩みへの対処」90%以上。</p>
	<p>基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等</p>	<p>◇校長のリーダーシップによる、「墨田区でイチバン・カッコイイ小学生になる作戦＝グー（粘り抜く）、チョコキ（いつもニコニコ、いじめはダメ）、パー（パッーあかるく元気にあいさつ）」の展開。</p> <p>◇生活指導の徹底。</p> <p>◇道徳教育の充実。</p>	<p>◇グーチョコキパーを合い言葉に、あいさつ運動や校長講話・学校だよりによる発信を実施。良好な人間関係を構築する。外部評価「楽しい学校生活」90%以上。</p> <p>◇学校生活の基本「四吾のよい子」を児童・保護者に周知徹底する。</p> <p>◇長期休業明けに生活指導リズムチェックを実施（年 3 回）し、規則正しい生活習慣の定着を目指す。</p> <p>◇外部評価「基本的生活習慣の定着」85%以上。</p> <p>◇道徳教科書の全単元の指導を計画的に実施する。道徳授業公開は、現状下で可能な形で実施する。外部評価「道徳授業・心の教育の充実」85%以上。</p>
	<p>安全を確保するための取組等</p>	<p>◇健康・安全な生活環境づくりの推進。</p> <p>◇食育・アレルギー対策の充実。</p> <p>◇人権教育の充実。</p> <p>◇防災教育の充実。</p>	<p>◇月 1 回の保健指導・安全指導の確実な実施。</p> <p>◇体力調査結果を分析よる体力向上策を立案、実施する。</p> <p>◇外部機関による情報モラル教室を年 1 回以上開催する。家庭とも連携し、家庭ルールの徹底を図る。</p> <p>◇アレルギー対象児童は、年 1 回の保護者面談を実施。組織的な対応の徹底を確認。</p> <p>◇食育の充実を図り、残滓率の常時 5% 以下を目標とする。</p> <p>◇人権プログラムに基づいた意図的計画的な指導（日常＋道徳での指導）を行う。</p> <p>◇戦災・震災の教訓をふまえた防災教室を年 1 回実施する。</p> <p>◇学校独自の防災体験教室や PTA 主催の防災お泊まり会を実施する。→感染症の状況により変更あり。</p> <p>◆外部評価「道徳授業・心の教育の充実」、「安全管理・環境整備」90%以上。</p>

様式 2

学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等	<p>◇分掌組織内での OJT 推進。</p> <p>◇週案簿の全員提出</p> <p>◇主幹主任の能力開発。</p>	<p>◇OJT が円滑に進むよう、職層を意識した組織編成とする。</p> <p>◇毎週、長・副 2 名で週案簿を確認し、教育活動の適切な実施を図る。</p> <p>◇管理職と主幹の会議を週 1 回実施。学校運営・経営への参画意識を高める。</p> <p>◆外部評価「教育目標達成」90%以上。</p>
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等	<p>◇各種評価の総合的な分析結果に基づく目標等の設定。</p>	<p>◇内部・外部評価、各種アンケートを総合的に分析し、毎年度末に次年度目標及び具現化策を再設定する。</p> <p>◆外部評価「教育目標達成」90%以上。</p>
	教育環境・設備等の整備状況等	<p>◇施設安全確認の徹底。</p> <p>◇施設の有効利用の促進。</p>	<p>◇月 1 回の施設安全点検の徹底（管理職が自らの目で最終確認を行う）。</p> <p>◇未整備の教室・施設の整理整頓を毎月点検・整備する。</p> <p>◇修理・改修が必要な施設については、管理職がその状況や理由を役所担当者に直接説明し、改善を図る。</p> <p>◆外部評価「安全管理・環境整備」90%以上。</p>
	職員の健康を守る労働環境づくり	<p>◇心身の健康管理の徹底。</p> <p>◇超過勤務時間の短縮と育児休業取得の推進。</p>	<p>◇メンタルチェックの結果を分析し早期発見に努め、必要に応じて早期受診を勧める。</p> <p>◇出退勤時刻の記録を分析・提示し、超過勤務月 4 0 時間以内の実現を目標とする。また、男女を問わずに育児休業を取得しやすい協働的な職場環境・体制の実現を目指す。</p>
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等	<p>◇学校便り、<u>学校HP</u>、各学年通信等を通して、教育活動の実際を伝える。</p> <p>◇感染防止対策を講じた上での<u>各種公開の実施</u>。</p>	<p>◇学校便りの充実を図る（写真等を活用し学校生活の様子を可視化する）。</p> <p>◇毎週 1 回、学級便りを発行。</p> <p>◇掲載内容の充実を図り、<u>月 2 回以上 HP を更新</u>する。</p> <p>◇人数・時間等を調整しながら可能な範囲で実施。</p> <p>◆外部評価「情報発信」、「開かれた学校づくり」85%以上。</p>
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等	<p>◇地域人材を活用した体験学習の実施。</p> <p>◇PTA・地域行事への教員の参加増。</p> <p>◇各種教育活動への保護者ボランティアの確実な参加。</p> <p>◇<u>開校 9 5 周年記念事業</u>に関する取組。</p>	<p>◇近隣商店街での職業体験を実施する（3年生・年 1 回）。</p> <p>◇各行事への参加・協力目標をひとり年間 2 回以上とする。</p> <p>◇運動会、持久走大会は PTA 本部依頼。図書ボランティア、あいさつ運動等は感染状況により再開。</p> <p>◇<u>校内委員会と周年実行委員会（地域・保護者）とが協働</u>し、周年記念行事の円滑な企画運営を推進する。</p> <p>◆外部評価「地域との協働」85%以上。</p>
	幼保小中連携の推進	<p>◇教員連携の充実＝顔と名前がわかる連携・交流活動。</p> <p>◇児童連携の充実。</p>	<p>◇近隣小中学校で、年 2 回の授業公開を実施。</p> <p>◇幼保園児との交流（学校案内、読み聞かせ）は感染状況により再開。</p> <p>◇中学校での体験授業（2 回以上・部活体験含む）は感染状況により再開。</p> <p>◆外部評価「特色ある活動開かれた学校づくり」85%以上。</p>